

紳士服製造技能検定試験の
試験科目及びその範囲並びにその細目

平成28年4月

厚生労働省職業能力開発局

1. 特級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
制定 平成 2 年度 改正 平成22年度
2. 1 級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ
制定 昭和47年度 改正 平成28年度
3. 2 級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16ページ
同 上
4. 3 級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23ページ
制定 平成 9 年度 改正 平成22年度
5. 基礎級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26ページ
同 上

1 特級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

紳士服製造の職種における管理者又は監督者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表1の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表1の右欄のとおりである。

表1

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 工程管理</p> <p>生産活動の流れ</p> <p>生産の形態</p> <p>工程管理の役割</p> <p>日程計画</p>	<p>生産活動の流れに関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 市場状況 (2) 設計・製図 (3) 生産計画</p> <p>(4) 生産指示 (5) 資材手配 (6) 作業指示・手配</p> <p>(7) 作業 (8) 試験・検査 (9) 出荷</p> <p>生産形態に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 受注形態による分類</p> <p>イ 受注生産 ロ 見込み生産</p> <p>(2) 製品の種類と生産量による分類</p> <p>イ 少種多量生産 ロ 多種少量生産</p> <p>(3) 生産方式による分類</p> <p>イ 個別生産 ロ ロット生産 ハ 連続生産</p> <p>1 生産計画に関し、次に掲げる事項の役割について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 手順計画 (2) 工数計画 (3) 日程計画</p> <p>(4) 資材計画</p> <p>2 生産統制に関し、次に掲げる事項の役割について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 作業手配 (2) 現品管理 (3) 進捗管理</p> <p>(4) 余力管理</p> <p>日程計画に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 大日程計画 (期間生産計画)</p> <p>(2) 中日程計画 (月度生産計画)</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
現品管理	(3) 小日程計画（日程計画） (4) 先行度（リードタイム） (5) 基準日程 (6) 基準工数 (7) 作業手順計画 (8) ガント・チャート（日程管理表） (9) パート 現品管理に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
進捗管理	(1) 移動票 (2) 入出庫票 (3) 差立て (4) 仕掛り 進捗管理に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 進捗状況の把握 (2) 日程計画と実績との比較 (3) 計画に対する遅れ及び進みの対策
余力管理	余力管理に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
在庫管理	(1) 負荷率 (2) 稼働率 (3) 余力調査 在庫管理に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
2 作業管理	
作業の標準化	(1) A B C 分析 (2) 発注方式 (3) 棚卸し 作業の標準化に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
方法研究	(1) 作業標準 (2) 標準時間 (3) 標準時間資料法 (4) 余裕率 方法研究に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
作業測定の方法	(1) 工程図記号 (2) 工程分析 (3) 加工経路図 (4) 流れ線図 (5) 要素作業分析 (6) メモーション分析 (7) サブリック (8) 動作経済の原則 (9) 連続稼働分析 (10) ワークサンプリング 作業測定の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。
作業改善	(1) 直接時間分析法 (2) P T S 法 1 作業改善手法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 5 W 1 H 法 (2) ブレーンストーミング法 (3) K J 法

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>3 品質管理</p> <p>品質管理の考え方</p> <p>統計の基礎知識</p> <p>品質管理手法及びその活用</p> <p>管理図の種類及びその活用</p> <p>抜取検査の種類及びその活用</p>	<p>2 作業改善に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 稼働率分析</p> <p>(2) 作業の同期化</p> <p>(3) スキル管理（作業習熟度管理）</p> <p>1 品質管理に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 品質管理の進め方 (2) 検査と品質管理</p> <p>(3) 標準化 (4) クレーム処理</p> <p>2 品質に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 設計品質 (2) 製造品質 (3) 市場品質</p> <p>3 TQC活動に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 方針管理 (2) 品質保証体制 (3) QCサークル</p> <p>統計に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 母集団とサンプルの関係</p> <p>(2) 統計量（平均値、分散、標準偏差、範囲）</p> <p>(3) 度数分布法 (4) 統計的検定及び推定 (5) 相関関係</p> <p>品質管理手法及びその活用に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 特性要因図 (2) ヒストグラム (3) 層別</p> <p>(4) パレート図 (5) 管理図 (6) チェックシート</p> <p>(7) 散布図</p> <p>次に掲げる管理図及びその活用について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) $\bar{X}-R$管理図 (2) np管理図 (3) p管理図</p> <p>(4) c管理図 (5) u管理図</p> <p>抜取検査の種類及びその活用に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 抜取検査と全数検査 (2) サンプルング</p> <p>(3) OC曲線 (4) 規準型抜取検査</p> <p>(5) 選別型抜取検査 (6) 調整型抜取検査</p> <p>(7) 連続生産型抜取検査</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>4 原価管理</p> <p>原価管理の考え方</p> <p>原価構成要素</p> <p>原価低減及びその評価</p>	<p>1 原価計算と原価管理の違いについて一般的な知識を有すること。</p> <p>2 陳腐化と原価に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 機会原価 (2) 埋没原価 (3) 差額原価</p> <p>原価構成要素に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 製品原価 (2) 材料費 (3) 労務費 (4) 経費 (5) 直接費 (6) 間接費 (7) 製造間接費 (8) 製造原価 (9) 総原価 (10) 一般管理販売費 (11) 利益</p> <p>原価低減及びその評価に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) V E (価値工学) (2) I E (経営工学) (3) 固定費の分析と管理 (4) 変動費の分析と管理 (5) 損益分岐点図表</p>
<p>5 安全衛生管理及び環境の保全</p> <p>安全衛生管理</p>	<p>1 安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 作業方法の決定及び作業者の配置についての次の事項</p> <p>イ 作業手順の定め方 ロ 作業方法の改善</p> <p>ハ 作業者の適正な配置方法</p> <p>(2) 作業者に対する指導又は監督の方法についての次の事項</p> <p>イ 指導及び教育の方法</p> <p>ロ 作業中における監督及び指示の方法</p> <p>(3) 作業設備及び作業場所の保守管理についての次の事項</p> <p>イ 作業設備の安全化及び環境の改善方法</p> <p>ロ 環境条件の保持</p> <p>ハ 安全又は衛生のための点検の方法</p> <p>(4) 異常時等における措置についての次の事項</p> <p>イ 異常時における措置 ロ 火災発生時における措置</p> <p>(5) 労働災害防止活動についての次の事項</p> <p>イ 労働災害防止活動についての関心の保持</p> <p>ロ 労働災害防止活動についての作業者の創意工夫を引き出す方法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>環境保全</p> <p>公害防止</p> <p>6 作業指導</p> <p>教育訓練計画のたて方及び教育訓練の実施</p> <p>仕事の教え方</p> <p>改善の仕方</p> <p>人の扱い方</p> <p>教育訓練の方法</p>	<p>(6) 健康づくり運動についての次の事項</p> <p>イ 健康の保持、増進についての関心の保持</p> <p>ロ 健康の保持、増進のための取組みの方法</p> <p>2 安全衛生に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 安全衛生管理体制のとりかたとそれぞれの役割</p> <p>(2) 災害統計</p> <p>3 労働安全衛生マネジメントシステムについて概略の知識を有すること</p> <p>1 環境基本法（平成5年法律第91号）及び環境基本計画のうち、事業活動に関する部分について、一般的な知識を有すること。</p> <p>2 環境管理に関する国際標準化機構の規格（ISO）について一般的な知識を有すること。</p> <p>公害防止に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 大気汚染 (2) 騒音 (3) 振動 (4) 悪臭</p> <p>教育訓練計画のたて方及び教育訓練の実施に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 教育訓練必要項目の把握</p> <p>(2) 教育訓練目標の設定方法</p> <p>(3) 教育訓練計画の作成</p> <p>(4) 教育訓練の実施方法</p> <p>(5) 教育訓練評価計画の策定方法</p> <p>仕事の教え方（TWI-JI）に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 訓練予定表の作成 (2) 作業分解</p> <p>(3) 教え方の4段階</p> <p>改善の仕方（TWI-JM）の4段階について一般的な知識を有すること。</p> <p>人の扱い方（TWI-JR）に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 基本心得 (2) 職場の問題の扱い方の4段階</p> <p>教育訓練の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) OJT (2) Off-JT (3) ジョブローテーション</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>7 設備管理</p> <p>設備管理の考え方</p> <p>設備点検の方法</p> <p>不良事項の原因及びその徴候</p>	<p>(4) リーダーシップ (5) 自己啓発 (6) 相互啓発 (7) 会議の進め方 (8) チームワーク (9) コミュニケーション (10) 指導演</p> <p>1 保全に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 生産保全 (2) 予防保全 (3) 事後保全 (4) 保全予防 (5) 改善保全</p> <p>2 故障と信頼性に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 設備稼働率 (2) 設備総合効率 (3) 平均故障間隔 (MTBF) (4) 平均修復時間 (MTTR)</p> <p>3 設備更新に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 耐用年数 (2) 設備履歴</p> <p>1 設備点検に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 日常点検の方法 (2) 次の項目に関する定期点検の方法 イ 摩 耗 ロ 油汚れ ハ 絶縁 ニ ガス漏れ ホ 蒸気漏れ へ 油圧機器の異音、振動及び発熱 ト エアの圧力及びエアミスト</p> <p>2 次に掲げる測定器具の用途、維持管理及びそれらによる測定結果の処理の仕方について一般的な知識を有すること。 (1) 寸法測定器 (2) 光学測定器 (3) 騒音計 (4) 振動計 (5) 温度計 (6) 湿度計 (7) 圧力計 (8) 色度計 (9) 比色計 (10) 染色関係測定器 (11) 防虫剤検出器 (ガスクロマトグラフ、液体クロマトグラフ)</p> <p>次に掲げる設備の不良事項の原因及びその徴候について一般的な知識を有すること。 (1) 焼き付き (2) 異常摩耗 (3) 破損 (4) 過熱 (5) 発煙 (6) 異臭 (7) 異常振動 (8) 異音 (9) き裂 (10) 腐食 (11) 漏電 (12) 変色 (よごれ) (13) 精度低下</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>設備診断</p> <p>設備と環境との関係</p>	<p>設備診断に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 異常の原因の発見 (2) 異常の原因に応じた対応措置 (3) 機械の主要構成要素の使用限界 (4) 点検表及び点検計画の修正 (5) 機械履歴の活用</p> <p>設備の周辺の環境が設備に及ぼす影響に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 室内温湿度 (2) 換気 (3) 騒音 (4) 採光 (5) 照明 (6) ほこり (7) ガス (8) 電圧変動</p>
<p>8 紳士服製造に関する現場技術 生産システム 自動生産システムの構成機器</p>	<p>生産システムについて一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる自動生産システムの構成機器について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 数値制御機械 (2) 自動搬送機器 (3) ロボット (4) LAN (5) 自動組立て機</p> <p>2 コンピュータに関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) CAD (コンピュータ使用設計) (2) CAM (コンピュータ使用製造) (3) CAT (コンピュータ使用試験・検査) (4) CIM (コンピュータ使用情報管理) (5) MAP (自動生産手続語) (6) VAN (付加価値通信網) (7) INS (情報回路網組織) (8) FMS (多品種少量対応生産システム)</p>
<p>材 料</p> <p>測定機器及び検査機器</p>	<p>繊維に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の天然繊維の種類、特徴及び用途 イ 植物繊維 ロ 動物繊維</p> <p>(2) 次の人造繊維の種類、特徴及び用途 イ 再生繊維 ロ 半合成繊維 ハ 合成繊維</p> <p>次に掲げる測定機器及び検査機器の種類、構造、測定範囲、精度及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 三次元座標測定機 (2) レーザー測定機器</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>実 技 試 験</p> <p>1 工程管理</p> <p>2 作業管理</p> <p>3 品質管理</p> <p>4 原価管理</p> <p>5 安全衛生管理</p> <p>6 作業指導</p> <p>7 設備管理</p>	<p>(3) 画像解析機器 (4) 圧力計 (5) 直尺 (6) テープメジャー</p> <p>1 人及び機械に対する具体的な日程計画がたてられること。 2 製品及び部品の作業工程の進捗管理ができること。 3 材料、加工品、製品等の現品管理ができること。</p> <p>1 作業測定を行い、標準時間を設定できること。 2 動作分析と改善提案ができること。 品質管理手法の活用ができること。 原価引き下げのための方策がたてられること。 安全衛生管理が具体的にできること。</p> <p>1 教育訓練計画が具体的にできること。 2 O J Tの具体的な展開についての改善提案ができること。</p> <p>1 設備点検計画がたてられること。 2 設備の点検及びその対策ができること。</p>

2 1級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

紳士服製造の職種における上級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表2の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表2の右欄のとおりである。

表2

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 紳士服一般</p> <p>紳士服の種類</p> <p>着 装</p> <p>2 材 料</p> <p>繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>織物の種類、組織、用途及び加工方法</p>	<p>次に掲げる紳士服の種類について、詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア</p> <p>(3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア</p> <p>(5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士服の着装に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的に適した着装</p> <p>(2) アクセサリーの調和と使用法</p> <p>繊維に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の天然繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 植物繊維 ロ 動物繊維</p> <p>(2) 次の人造繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 再生繊維 ロ 半合成繊維 ハ 合成繊維</p> <p>1 紳士服用織物の種類、組織及び用途に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 織物の三原組織及び変化組織</p> <p>(2) 織物の柄</p> <p>(3) 次の織物の判別法</p> <p>イ たて、よこの方向 ロ 織物の表裏</p> <p>ハ ワンウェイカッティング</p> <p>2 織物の加工方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 織物の仕上げの種類、特徴及び用途</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>編物及び不織布の種類及び用途</p> <p>縫糸の種類及び用途</p> <p>附属材料の種類及び用途</p> <p>3 色彩及び流行</p> <p>色彩の用語</p> <p>流 行</p> <p>4 安全衛生</p> <p>安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>5 前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>イ 紳士注文服製作法</p>	<p>(2) 織物の特殊加工の種類、特徴及び用途</p> <p>紳士服用編物及び不織布の種類及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>縫糸の種類、材質、より方、用途及び太さの表示法について一般的な知識を有すること。</p> <p>紳士服用の附属材料の種類及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 表色系 (2) 色の三属性 (3) 色調</p> <p>(4) 補色 (5) 色の寒暖 (6) 色の膨張及び収縮</p> <p>(7) 色の混合 (8) 面積効果 (9) 色の対比と配色</p> <p>紳士服の流行に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 国内及び欧米の服装の歴史</p> <p>(2) 国内及び欧米の紳士服の形体、色彩、柄、材料、アクセサリ等の流行</p> <p>1 紳士服製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及び取扱い方法</p> <p>(3) 整理、整頓及び清潔の保持</p> <p>(4) 熱処理器具の取扱い上の安全</p> <p>(5) 電気設備、ガス設備、蒸気設備の取扱い上の安全</p> <p>(6) 室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全</p> <p>(7) 事故時における応急措置</p> <p>(8) その他紳士服製造作業に関する安全又は衛生のための必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法関係法令（紳士服製造の作業に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士注文服製作の特徴</p> <p>体形</p> <p>採寸</p> <p>デザイン技法</p> <p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁断の方法</p> <p>仮縫い、着せ付け及び補正の方法</p> <p>縫製の手順及び方法</p>	<p>次に掲げる紳士注文服の製作の特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア (3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア (5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>次に掲げる体形について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 普通体 (2) 準肥満体 (3) 肥満体 (4) そう身体 (5) 反身体 (6) 屈身体 (7) 怒肩 (8) なで肩 (9) 胸囲とウエストとの差（ドロップ）</p> <p>紳士注文服の採寸に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸箇所及び採寸方法 (2) 体形の把握</p> <p>紳士注文服のデザイン技法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) デザインの基本 (2) 体形とデザインの関係 (3) 材料とデザインの関係 (4) 色彩とデザインの関係</p> <p>次に掲げる製図及び型紙の製作について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 製図 (2) 型紙の製作 (3) 原型及びその応用</p> <p>紳士注文服の裁断の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 型紙の差し込み法 (2) 型紙による裁断及び直裁ち (3) しま柄、格子柄、織柄、逆毛等の取扱い上の注意 (4) 縫い代の付け方 (5) 合印の付け方</p> <p>紳士注文服の仮縫い、着せ付け及び補正の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 仮縫いの構成順序及びその方法 (2) 着用者の体形と着せ付け及び型紙の補正の方法</p> <p>紳士注文服の縫製の手順及びその方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 縫製の手順 (2) くせ処理 (3) 各種材料に適合した縫製及び仕上げ方法 (4) 次の縫製作業の方法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士注文服の製作に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p> <p>家庭用品品質表示法</p> <p>ロ 紳士既製服製造法 紳士既製服製造の特徴</p> <p>製造工程</p> <p>体 形</p> <p>採 寸</p> <p>デザイン技法</p>	<p>イ 裁ち合わせ ロ ダーツ縫い ハ ダーツ処理 ニ ポケット作り ホ ^{しん}芯作り及び^{しん}芯すえ へ 見返し作り見返し付け ト 背作り チ ^{わき}脇入れ リ 肩入れ ス えり作り ル えり付け ヲ そで作り ワ そで付け カ 前立て及び^{てんぐ}天狗作り ヨ 腰裏付け タ ^{こまた}小股及びしり縫い</p> <p>次に掲げる紳士注文服の製作に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 裁断用器具 (2) 縫製仕上げ用補助器具 (3) ミシン及び附属品 (4) 仕上げ用器具</p> <p>家庭用品品質表示法について概略の知識を有すること。</p> <p>次に掲げる紳士既製服の製造の特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア (3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア (5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士既製服の製造工程に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 工程分析 (2) 作業分析 (3) 作業時間の設定 (4) 作業場のレイアウト (5) 余裕率 (6) 標準時間の設定 (7) 製品の流し方及び運搬管理 (8) 外注管理 (9) 数量管理及び品質管理 (10) 製品検査</p> <p>次に掲げる体形について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 普通体 (2) 準肥満体 (3) 肥満体 (4) そう身体 (5) 反身体 (6) 屈身体 (7) 怒 肩 (8) なで肩 (9) 胸囲とウエストとの差（ドロップ）</p> <p>紳士既製服の採寸に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸箇所及び採寸方法 (2) 体形の把握</p> <p>量産のためのデザイン技法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) デザインの基本 (2) 体形とデザインの関係 (3) 材料とデザインの関係 (4) 色彩とデザインの関係</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁断の方法</p> <p>縫製の方法</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p>	<p>次に掲げる製図及び工業用型紙の製作について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 製 図 (2) 工業用型紙の製作 (3) グレーディング</p> <p>紳士既製服の裁断の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 検反 (2) 延反 (3) 柄物、毛並等の取扱い上の注意 (4) 生地の所要量の見積り (5) マーキング (6) かさね量と裁断上の要点 (7) 裁断 (8) ノッチの方法</p> <p>紳士既製服の縫製の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 縫製の手順 (2) くせ処理 (3) 各種材料に適合した縫製及び仕上げ方法 (4) 接着縫製法 (5) 次に掲げる縫製作業法</p> <p>イ ダーツ縫い ロ ダーツ処理 ハ ポケット作り ニ 芯^{しん}すえ ホ 見返し作り及び見返し付け へ 背作り ト 脇^{わき}入れ チ 肩入れ リ えり作り ヌ えり付け ル そで作り ヲ そで付け ワ 小股^{こまた}及びしり縫い カ 腰裏付け ヨ 前立て及び天狗^{てんぐ}作り</p> <p>1 紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること</p> <p>(1) 製図用具の種類、用途及び使用方法 (2) 次の裁断用機械及び器工具の種類及び用途</p> <p>イ 延反機 ロ 目打ち器 ハ 縦刃式裁断機 ニ 丸刃式裁断機 ホ バンドナイフ式裁断機 へ プレス式裁断機 ト 自動裁断機</p> <p>(3) 次の工業用ミシンの種類及び機能</p> <p>イ 本縫いミシン ロ 特殊縫いミシン ハ 自動ミシン</p> <p>(4) アイロン、バキューム台の種類及び取扱い (5) プレス機の種類及び取扱い</p> <p>2 次の機能を有するアパレルコンピュータの種類、用途及び、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士既製服に関する日本工業規格</p> <p>家庭用品品質表示法</p>	<p>(1) パターンメイキング (2) グレーディング (3) マーキング (4) カッティング</p> <p>次に掲げる紳士既製服に関する日本工業規格について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) J I S L 0110衣料パターンの表示記号 (2) J I S L 0111衣料のための身体用語 (3) J I S L 0206繊維用語 (織物部門) (4) J I S L 0215繊維製図用語 (衣料) (5) J I S L 0217繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法 (6) J I S L 4107一般衣料品</p> <p>次に掲げる紳士既製服に関する日本工業規格について一般的な知識を有すること。</p> <p>J I S L 4004成人男子用衣料のサイズ</p> <p>家庭用品品質表示法について一般的な知識を有すること。</p>
<p>実 技 試 験</p> <p>次の各号に掲げる科目のうち、 受検者が選択するいずれかの科目</p> <p>1 紳士注文服製作作業</p> <p>採 寸</p> <p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁 断</p> <p>仮縫い、着せ付け及び補正</p> <p>縫製及び仕上げ</p> <p>2 紳士既製服製造作業</p> <p>作業指示書の作成</p> <p>工程分析</p> <p>レイアウト</p>	<p>採寸ができること。</p> <p>1 製図ができること。 2 型紙の製作及び型紙の操作ができること。</p> <p>裁断作業ができること。</p> <p>1 仮縫い作業ができること。 2 着せ付け作業ができること。 3 補正作業ができること。</p> <p>1 手縫い及びミシン縫いの縫製作業ができること。 2 アイロン作業ができること。 3 仕上げ作業ができること。 4 裁ち合せ作業ができること。</p> <p>作業指示書の作成ができること。 工程分析ができること。 レイアウトができること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁 断</p> <p>縫製及び仕上げ</p> <p>製品検査</p> <p>縫製機械の点検及び調整</p>	<p>背広上衣、ズボン及びコート類について、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) 製図 (2) 型紙の製作 (3) グレーディング</p> <p>背広上衣、ズボン及びコート類について、マーキング（型入れ）及び裁断作業ができること。</p> <p>背広上衣、ズボン及びコート類について、縫製及び仕上げ作業ができること。</p> <p>背広上衣、ズボン及びコート類について製品検査ができること。</p> <p>縫製機械の点検及び調整に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) ミシンの簡単な点検 (2) ミシンの簡単な調整</p>

3 2級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

紳士服製造の職種における中級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表3の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表3の右欄のとおりである。

表3

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 紳士服一般</p> <p>紳士服の種類</p> <p>着 装</p> <p>2 材 料</p> <p>繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>織物の種類、組織、用途及び加工方法</p>	<p>次に掲げる紳士服の種類について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア</p> <p>(3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア</p> <p>(5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士服の着装に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的に適した着装</p> <p>(2) アクセサリーの調和と使用法</p> <p>繊維に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の天然繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 植物繊維 ロ 動物繊維</p> <p>(2) 次の人造繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 再生繊維 ロ 半合成繊維 ハ 合成繊維</p> <p>1 紳士服用織物の種類、組織及び用途に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 織物の三原組織及び変化組織</p> <p>(2) 織物の柄</p> <p>(3) 次の織物の判別法</p> <p>イ たて、よこの方向</p> <p>ロ 織物の表裏</p> <p>ハ ワンウェイカッティング</p> <p>2 織物の加工方法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>編物及び不織布の種類及び用途</p> <p>縫糸の種類及び用途</p> <p>附属材料の種類及び用途</p> <p>3 色彩及び流行</p> <p>色彩の用語</p> <p>流 行</p> <p>4 安全衛生</p> <p>安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>5 前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>イ 紳士注文服製作法</p>	<p>(1) 織物の仕上げの種類、特徴及び用途</p> <p>(2) 織物の特殊加工の種類、特徴及び用途</p> <p>紳士服用編物及び不織布の種類及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>縫糸の種類、材質、より方、用途及び太さの表示法について概略の知識を有すること。</p> <p>紳士服用の附属材料の種類及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる色彩の用語について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 表色系 (2) 色の三属性 (3) 色調</p> <p>(4) 補色 (5) 色の寒暖 (6) 色の膨張及び収縮</p> <p>(7) 色の混合 (8) 面積効果 (9) 色の対比と配色</p> <p>紳士服の流行に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 国内及び欧米の服装の歴史</p> <p>(2) 国内及び欧米の紳士服の形体、色彩、柄、材料、アクセサリ一等の流行</p> <p>1 紳士服製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及び取扱い方法</p> <p>(3) 整理、整頓及び清潔の保持</p> <p>(4) 熱処理器具の取扱い上の安全</p> <p>(5) 電気設備、ガス設備、蒸気設備の取扱い上の安全</p> <p>(6) 室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全</p> <p>(7) 事故時における応急措置</p> <p>(8) その他紳士服製造作業に関する安全又は衛生のための必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法関係法令（紳士服製造の作業に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士注文服製作の特徴</p> <p>体形</p> <p>採寸</p> <p>デザイン技法</p> <p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁断の方法</p> <p>仮縫い、着せ付け及び補正の方法</p> <p>縫製の手順及び方法</p>	<p>次に掲げる紳士注文服の製作の特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア (3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア (5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>次に掲げる体形について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 普通体 (2) 準肥満体 (3) 肥満体 (4) そう身体 (5) 反身体 (6) 屈身体 (7) 怒肩 (8) なで肩 (9) 胸囲とウエストとの差(ドロップ)</p> <p>紳士注文服の採寸に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸箇所及び採寸法 (2) 体形の把握</p> <p>紳士注文服のデザイン技法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) デザインの基本 (2) 体形とデザインの関係 (3) 材料とデザインの関係 (4) 色彩とデザインの関係</p> <p>次に掲げる製図及び型紙の製作について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 製図 (2) 型紙の製作 (3) 原型及びその応用</p> <p>紳士注文服の裁断の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 型紙の差し込み法 (2) 型紙による裁断及び直裁ち (3) しま柄、格子柄、織柄、逆毛等の取扱い上の注意 (4) 縫い代の付け方 (5) 合印の付け方</p> <p>紳士注文服の仮縫い、着せ付け及び補正の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 仮縫いの構成順序及びその方法 (2) 着用者の体形と着せ付け及び型紙の補正の方法</p> <p>紳士注文服の縫製の手順及びその方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 縫製の手順 (2) くせ処理 (3) 各種材料に適合した縫製及び仕上げ方法 (4) 次の縫製作業の方法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士注文服の製作に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p> <p>家庭用品品質表示法</p> <p>ロ 紳士既製服製造法</p> <p>紳士既製服製造の特徴</p> <p>製造工程</p> <p>体 形</p> <p>採 寸</p> <p>デザイン技法</p>	<p>イ 裁ち合わせ ロ ダーツ縫い ハ ダーツ処理</p> <p>ニ ポケット作り ホ 芯^{しん}作り及び芯^{しん}すえ</p> <p>ヘ 見返し作り見返し付け ト 背作り チ 脇^{わき}入れ</p> <p>リ 肩入れ ヌ えり作り ル えり付け</p> <p>ヲ そで作り ワ そで付け カ 前立て及び天狗^{てんぐ}作り</p> <p>ヨ 腰裏^{こまた}付け タ 小股及びしり縫い</p> <p>次に掲げる紳士注文服の製作に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 裁断用器具 (2) 縫製仕上げ用補助器具</p> <p>(3) ミシン及び附属品 (4) 仕上げ用器具</p> <p>家庭用品品質表示法について概略の知識を有すること。</p> <p>次に掲げる紳士既製服の製造の特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア</p> <p>(3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア</p> <p>(5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士既製服の製造工程に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 工程分析 (2) 作業分析 (3) 作業時間の設定</p> <p>(4) 作業場のレイアウト (5) 余裕率 (6) 標準時間の設定</p> <p>(7) 製品の流し方及び運搬管理 (8) 外注管理</p> <p>(9) 数量管理及び品質管理 (10) 製品検査</p> <p>次に掲げる体形について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 普通体 (2) 準肥満体 (3) 肥満体 (4) そう身体</p> <p>(5) 反身体 (6) 屈身体 (7) 怒肩 (8) なで肩</p> <p>(9) 胸囲とウエストとの差（ドロップ）</p> <p>紳士既製服の採寸に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸箇所及び採寸方法 (2) 体形の把握</p> <p>量産のためのデザイン技法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) デザインの基本 (2) 体形とデザインの関係</p> <p>(3) 材料とデザインの関係 (4) 色彩とデザインの関係</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁断の方法</p> <p>縫製の方法</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p>	<p>次に掲げる製図及び工業用型紙の製作について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 製図 (2) 工業用型紙の製作 (3) グレーディング</p> <p>紳士既製服の裁断の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 検反 (2) 延反 (3) 柄物、毛並等の取扱い上の注意 (4) 生地の所要量の見積り (5) マーキング (6) かさね量と裁断上の要点 (7) 裁断 (8) ノッチの方法</p> <p>紳士既製服の縫製の方法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 縫製の手順 (2) くせ処理 (3) 各種材料に適合した縫製及び仕上げ方法 (4) 接着縫製法 (5) 次に掲げる縫製作業法</p> <p>イ ダーツ縫い ロ ダーツ処理 ハ ポケット作り ニ 芯^{しん}すえ ホ 見返し作り及び見返し付け ヘ 背作り ト 脇^{わき}入れ チ 肩入れ リ えり作り ヌ えり付け ル そで作り ヲ そで付け ワ 小股^{こまた}及びしり縫い カ 腰裏^{こし}付け コ 前立て及び天狗^{てんぐ}作り</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 製図用具の種類、用途及び使用方法 (2) 次の裁断用機械及び器工具の種類及び用途に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>イ 延反機 ロ 目打ち器 ハ 縦刃式裁断機 ニ 丸刃式裁断機 ホ バンドナイフ式裁断機 ヘ プレス式裁断機 ト 自動裁断機</p> <p>(3) 次の工業用ミシンの種類及び機能</p> <p>イ 本縫いミシン ロ 特殊縫いミシン ハ 自動ミシン</p> <p>(4) アイロン、バキューム台の種類及び取扱い (5) プレス機の種類及び取扱い</p> <p>2 次の機能を有するアパレルコンピュータの種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) パターンメイキング (2) グレーディング (3) マーキング (4) カッティング</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>紳士既製服に関する日本工業規格</p> <p>家庭用品品質表示法</p> <p>実 技 試 験</p> <p>次の各号に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>1 紳士注文服製作作業（礼服を除く。）</p> <p>採 寸</p> <p>製図及び型紙の製作</p> <p>裁 断</p> <p>仮縫い、着せ付け及び補正</p> <p>縫製及び仕上げ</p> <p>2 紳士既製服製造作業</p> <p>縫製及び仕上げ</p> <p>製品検査</p>	<p>次に掲げる紳士既製服に関する日本工業規格について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) J I S L 0110衣料パターンの表示記号</p> <p>(2) J I S L 0111衣料のための身体用語</p> <p>(3) J I S L 0206繊維用語（織物部門）</p> <p>(4) J I S L 0215繊維製図用語（衣料）</p> <p>(5) J I S L 0217繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法</p> <p>(6) J I S L 4107一般衣料品</p> <p>次に掲げる紳士既製服に関する日本工業規格について一般的な知識を有すること。</p> <p>J I S L 4004</p> <p>成人男子用衣料のサイズ家庭用品品質表示法について概略の知識を有すること。</p> <p>採寸ができること。</p> <p>1 製図ができること。</p> <p>2 型紙の製作及び型紙の操作ができること。</p> <p>裁断作業ができること。</p> <p>1 仮縫い作業ができること。</p> <p>2 着せ付け作業ができること。</p> <p>3 補正作業ができること。</p> <p>1 手縫い及びミシン縫いの縫製作業ができること。</p> <p>2 アイロン作業ができること。</p> <p>3 仕上げ作業ができること。</p> <p>4 裁ち合わせ作業ができること。</p> <p>背広上衣、ズボン及びコート類について、縫製及び仕上げ作業ができること。</p> <p>背広上衣、ズボン及びコート類について、製品検査ができること</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
縫製機械の点検及び調整	<p>。</p> <p>縫製機械の点検及び調整に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) ミシンの簡単な点検</p> <p>(2) ミシンの簡単な調整</p>

4 3級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

紳士服製造の職種における初級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表4の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表4の右欄のとおりである。

表4

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 紳士服一般</p> <p>紳士服の種類</p> <p>着 装</p> <p>2 材 料</p> <p>繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>織物の種類、組織及び用途</p> <p>編地及び不織布の種類及び用途</p> <p>縫糸の種類及び用途</p>	<p>次に掲げる紳士服の種類について、一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア</p> <p>(3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア</p> <p>(5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士服の着装に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的に適した着装</p> <p>(2) アクセサリーの調和と使用法</p> <p>繊維に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 次の天然繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 植物繊維 ロ 動物繊維</p> <p>(2) 次の人造繊維の種類、特徴及び用途</p> <p>イ 再生繊維 ロ 半合成繊維 ハ 合成繊維</p> <p>紳士服用織物の種類、組織及び用途に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 織物の三原組織及び変化組織</p> <p>(2) 織物の柄</p> <p>(3) 次の織物の判別法</p> <p>イ たて、よこの方向 ロ 織物の表裏</p> <p>ハ ワンウェイカッティング</p> <p>紳士服用の編地及び不織布の種類及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>縫糸の種類、材質、より方、用途及び太さの表示法について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>附属材料の種類及び用途</p> <p>3 色 彩 色彩の用語</p> <p>4 安全衛生 安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>5 紳士既製服製造法 紳士既製服製造の特徴</p> <p>縫製の方法</p>	<p>紳士服の附属材料の種類及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>次に掲げる色彩の用語について概略の知識を有すること。 (1) 表色系 (2) 色の三属性 (3) 色調 (4) 補色 (5) 色の寒暖 (6) 色の膨張及び収縮 (7) 色の混合 (8) 面積効果 (9) 色の対比と配色</p> <p>1 紳士服製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 (1) 機械、器工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法 (2) 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及び取扱い方法 (3) 整理、整頓及び清潔の保持 (4) 熱処理工具の取扱い上の安全 (5) 電気設備、ガス設備、蒸気設備の取扱い上の安全 (6) 室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全 (7) 事故時における応急措置 (8) その他紳士服製造作業に関する安全又は衛生のための必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法関係法令（紳士服製造作業に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる紳士既製服の製造の特徴について概略の知識を有すること。 (1) フォーマルウェア (2) ビジネスウェア (3) カジュアルウェア (4) スポーツウェア (5) ユニフォーム (6) コート類</p> <p>紳士既製服の縫製の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 縫製の手順 (2) くせ処理 (3) 各種材料に適合した縫製及び仕上げ方法 (4) 接着縫製法 (5) 次に掲げる縫製作業法 イ ダーツ縫い ロ ダーツ処理 ハ ポケット作り ニ そで作り ホ <small>こまた</small>小股及びしり縫い へ 腰裏付け ト 前立て及び天狗作り</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>製品検査</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p> <p>紳士既製服に関する日本工業規格</p> <p>家庭用品品質表示法</p>	<p>紳士既製服の製品検査の良否判定方法について概略の知識を有すること。</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 次の裁断用機械及び器工具の種類及び用途</p> <p>イ 延反機 ロ 目打ち器 ハ 縦刃式裁断機</p> <p>ニ 丸刃式裁断機 ホ バンドナイフ式裁断機</p> <p>ヘ プレス式裁断機 ト 自動裁断機</p> <p>(2) 次の工業用ミシンの種類及び機能</p> <p>イ 本縫いミシン ロ 特殊縫いミシン</p> <p>ハ 自動ミシン</p> <p>(3) アイロン、バキューム台の種類及び取扱い</p> <p>(4) プレス機の種類及び取扱い</p> <p>次に掲げる紳士既製服に関する日本工業規格について概略の知識を有すること。</p> <p>J I S L 4004</p> <p>成人男子用衣料のサイズ</p> <p>次に掲げる家庭用品品質表示法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 組成表示 (2) 絵表示</p>
<p>実 技 試 験</p> <p>紳士既製服製造作業</p> <p>縫製及び仕上げ</p> <p>縫製機械の点検及び調整</p>	<p>縫製及び仕上げ作業ができること。</p> <p>縫製機械の点検及び調整に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) ミシンの簡単な点検</p> <p>(2) ミシンの簡単な調整</p>

5 基礎級紳士服製造技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

紳士服製造職種に係る基本的な業務を遂行するために必要な基礎的な技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表5の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表5の右欄のとおりである。

表5

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 主な紳士服の種類</p> <p>2 主な紳士服の製造の方法 紳士既製服製造法 製造工程</p> <p>縫製の方法</p> <p>紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法</p> <p>3 繊維及び織物の種類 繊維の種類</p> <p>織物の種類及び特徴</p>	<p>次に掲げる紳士服の部分用語について初歩的な知識を有すること。</p> <p>(1) 背広上衣 (2) チョッキ (3) コート (4) ズボン</p> <p>次に掲げる紳士既製服の製造工程について初歩的な知識を有すること。</p> <p>(1) 型入れ (2) 裁断 (3) 接着 (4) 縫製 (5) プレス (6) 検査</p> <p>1 紳士既製服の縫製の手順について初歩的な知識を有すること。 2 紳士既製服の縫製の方法について初歩的な知識を有すること。</p> <p>1 紳士既製服の製造に使用する機械及び器工具に関し、次に掲げる事項について初歩的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の裁断機の部分用語、種類及び使用方法 イ たて刃型 ロ 丸刃型 (2) 次の工業用ミシンの部分用語、種類及び使用方法 イ 本縫いミシン ロ 特殊縫いミシン (3) アイロンの種類及び使用方法 (4) バキューム台の使用方法</p> <p>2 紳士既製服の製造に使用するミシン針の種類、太さ及び用途について初歩的な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる繊維の用語について初歩的な知識を有すること。</p> <p>(1) 綿 (2) 麻 (3) 絹 (4) 毛</p> <p>次に掲げる紳士服用織物の判別法について初歩的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>縫糸の種類</p> <p>4 安全衛生に関する基礎的な知識</p> <p>実 技 試 験</p> <p>紳士服の縫製</p> <p>紳士既製服製造作業</p> <p>縫 製</p> <p>縫製機械の点検</p>	<p>(1) たて、よこ等の方向 (2) 表裏</p> <p>紳士服用の縫糸の種類及び太さの表示法について初歩的な知識を有すること。</p> <p>紳士服製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について初歩的な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及び取扱い方法</p> <p>(3) 整理、整頓及び清潔の保持</p> <p>(4) 電気設備及び蒸気設備の取扱い上の安全</p> <p>(5) 室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全</p> <p>(6) 事故時における応急措置</p> <p>(7) 安全衛生標識（立入禁止、安全通路、保護具着用、火気厳禁等）</p> <p>(8) 合図</p> <p>(9) 服装</p> <p>簡単な背広上衣、コート又はズボンの基礎縫いができること。</p> <p>ミシンの簡単な点検ができること。</p>